

# 建設不動産部会報

第 15 号



## 就職戦線たけなわ の時に寄せて

エスシーリースマシーナリ  
専務取締役  
庄 司 光 克(昭30・商)

今年も就職シーズンがやって来た。景気を反映してか、梅雨時に重なって例年になく湿っぽさを感じられる。

バブルの頂点に大学へ入った学生が、そのドン底に卒業という、真に皮肉なめぐり合せで気の毒なことだと、本人は勿論、親御さんのご心配も察するに余りある。

それはそれとして、当世学生気質なのだろうか、大学に籍を置いて、ただ生活を楽しむ事にウエイトをかけ、3年有余過ごして来てしまったという印象しかない学生の多いこと。

自営業の子弟が多かったという昔の明治ならいざ知らず、バブルは大変な汚染を遺していつてしまったものである。

政治改革、経済摩擦、円高、PKO、といった時事問題については、自分たちの住む世の中の事ではないかの如く、判らない、関心がないが通り相場で、意見も見識もあつたものではないのではない。これが今や不況に耐えて、なんとかこれを乗り越えようと足掻いている先輩諸氏の世界に入ろうという学生なのだから、取組む土俵が違うことも甚だしい。

数年前、理科系の学生で、母親を失くし、家では父親と弟のために“おさんどん”昼は生田、夜は実験をやり繰った合間に建設現場でアルバイト、それでトップの成績をものにし“精一杯生きて来ました”と底抜けに明るく自信に満ちた笑顔をみせてくれたスーパーマン程ではないにしても、己を知り、確たる目的意識のもとに、自分の引いた計画路線を着実に踏みしめて前進している学生が、1人でも多く育てて欲しい。

大学への働きかけ、学生へのアドバイス、OBも傍観者ではいられない。

若い活力溢れた会員を誘う、更に川上への手当も、日頃の吾々の姿勢に拠るところが大きいのではないかと考える。

この様なことに思いが馳せるのも年のせいなのだろうか。そろそろ、ばあさんと楽しむことだけにした方がよいのかもしれない？

# 平成5年1月賀詞交換会

於／竜宮殿

恒例のオークション!!



若手落語家ホープ!!  
古今亭菊若さん

日本一の明大校歌  
効果は不況を吹き飛ばせ!!



\*\*\*\*\*

## 『建設会社のための

総会特別  
講演

## 倒産防止対策』

(株)日経コンサルタント

代表取締役 丸山 藤夫(昭34・商)

### 1. これまでと違う平成不況

わが国は過去に2回大きなショックを体験してきた。それはドルショックとオイルショックである。この2つのショックはアメリカ及び中近東といった外から受けたものである。これらはちょうど颱風のようなもので、一過性の風圧にすぎなかった。

しかし、現在われわれが直面している『セルフショック』は国内要因によるものであり、①バブル崩壊、②基幹産業不振、③構造変化といった複合不況によるもので根が深い。したがって景気回復までは、なお時間がかかるものと考えた方がよい。

### 2. 最近の建設・不動産の倒産状況

今年に入って5月までの倒産発生件数をみると、建設業が1,241件で前年対比9.4%増であるが、不動産は380件で同6.4%増となっており高い数字を示している。また倒産原因は不況型が

\*\*\*\*\*



52%で過半数を占めている。

### 3. 経営者がやるべき倒産予防策

- (1) 財産金融面では、自己資本の充実、計数管理の徹底、固定資金の削減を行うこと。
- (2) 営業取引面においては、手堅い営業による契約条件の適正化に努めると共に原価計算を正確に行うこと。
- (3) 施工管理面では、実行予算を厳格に立て、その予算管理を徹底する。一方、現場管理を木目細かに行うこと。

(4) 労務管理面からは、従業員の勤労意欲を高めるとともに、交際費、電話料、ガソリン代などの経費節減を図ること。

(5) 経営管理面としては、フラットな管理組織に組みかえて、営業、施工(生産)ラインへの人員配置により機動力を高めること。

しかし、以上の対策を実行しながら、決して消極的、悲観的にならず、変化をチャンスとして考え、チャンスを見逃がすことなく、チャレンジ精神で邁進することを希望したい。

## 「建設不動産部会」平成4年度決算報告

収 入 の 部		支 出 の 部	
(1) 4年度会費	940,000	(1) 通信費(切手・ハガキ・郵送費)	149,292
(2) 5年度会費	20,000	(2) 印刷費(案内状・封筒)	489,110
(3) 総会会費	114,000	(3) 会場費(総会・勉強会)	41,200
(4) 勉強会会費	14,000	(4) パーティー費	1,367,128
(5) パーティ関係会費	1,198,000	(総会・納涼・忘年会・新年会)	
(6) 雑収入	10,034	(5) 講師等謝礼	140,000
(7) 前期繰越金	474,609	(6) 年会費振替手数料	6,480
		(7) 勉強会ジュース代	2,630
		(8) 雑費	13,266
		(9) 次期繰越金	260,537
計	2,470,643	計	2,470,643

☆別途に賀詞交換会等でのオークション売上代金(¥224,453-)があります。

上記の通り報告致します。

平成5年3月31日

財務部長 兼 松 紘一郎

## 「建設不動産部会馬琴をきく集い」

熱  
演  
！



(株)兼松設計 代表取締役

兼 松 紘一郎 (昭37・工)

6月14日、池の端本牧亭に於て、部会主催による宝井馬琴さんの講談をきく会がひらかれました。

三方ヶ原合戦の修羅場を読みながら、修業のきびしさを、朱子学と陽明学を平易に解説する“まくら”の語りにさすがに馬琴さんだと感心し、本題の「ひょうたん屋政談」に久し振りに、じっくりと講談をきいた喜びでいっぱいになりました。

当夜は、レディス部会から佐藤会長等本部から小林前代表幹事の方々も参加され、馬琴さんを囲みながら、懐石料理を賞味した後、明大の校歌を肩を組みながら大声でうたい、初夏の一夜を堪能しました。

### 「宝井琴時さん二つ目昇進の会」

馬琴さんの愛弟子、講談の宝井琴時さんの二つ目昇進披露の会が、4月29日御徒町の吉池ホールで開催された。

曲芸の鏡味仙寿郎師、馬琴師匠の高座で場内が湧きかえる中、琴時さんが“押しつけ花嫁”など2席披露したが、会場は膝送りをするほど大盛況で、琴時さん、馬琴さんの人脈の広さに感心した。

部会からも、お祝いの生花をプレゼントし、十数名が応援にかけつけました。

## 会員探訪

協和エクシオ 電気本部営業部部长 大 沼 宏  
港区赤坂4-13-13 ☎5570-8131

インタビューにお伺いしたのは、4月中旬の午後でしたが、机につくやすぐに『まず、仕事の話から始めましょう。』と、切り出されたのは、さすが第一線の営業部長だなあと、感服致しました。同じ業種が集まっていることにより、なんらかの繋がりはあるということで、建設不動産部会は強みです。

—では、仕事の件は一通り終わりましたので、インタビューに入らせていただきたいと思います。まず卒年と学部、サークルに入っていましたら、また学生時代の思い出等がございましたらお願い致します。

『昭和37年、商学部卒で、印南ゼミに入っていました。このゼミは、保険のゼミで、卒業生には朝日生命の若原社長他、多数の方が活躍なさってます。学生時代は麻雀ばかりしていました。校風の質実剛健は残してもらいたいと思いますが、今はないんじゃないでしょうか。この前の、不正入試事件のイメージダウンなんかも払拭してほしいと思います。』

—明大昭和会の建設不動産部会にはいられたきっかけと、部会の運営についてご意見がございましたら。

『5年ほど前、企業コンサルタントをなさっておられる丸山さんの紹介です。丸山さんとは、現在住んでいる町田の校友会がありまして、200人位いますが、そのメンバーです。しかも出身が同じ山形の隣村同士で、高校の先輩でした。今は、町田駿台会と名称が変わりました。

この部会については、よくまとまっていて、がんばっていらっしゃると思ってます。部長や事務局のリードが素晴らしいのだと思います。勉強会も堅苦しくなくてよいようですが、講師はあまり明大出身に拘らなくても良いのではないかと思うのですがどうでしょうか。』

—それでは、会社の紹介と、配属歴、現在の仕事の内容を教えてください。又、印象に残った仕事を一つ。

『協和エクシオは、総合設備エンジニアリングの企業です。一昨年5月にCIを行いまして、旧社名の協和電設株式会社より、現社名になりました。エクシオとは、ラテン語で「自らの力で殻を破って飛び出す」という意味です。メリットは、リクルートに有利になりました。CIを通してダイナミズムを感じるという学生が増えました。もちろんメリットもあり、業種が分からないと言うのもありました。

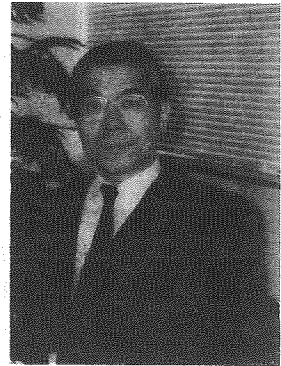
入社してからの経歴は、まず社長室に入りまして、現場へ2年ほど出まして、経理・資材方の事務をやっていました。その後、営業を5年ほどやりまして、人事部へ配属になりました。3年いて、横浜の支店に出ました。4年いて、営業に管理職として戻りました。その後、人事に移り、3年ほどして現在の電気本部に至ります。

現在の本部は、5つある事業本部のひとつで、内線工事を担当しています。営業先も、官公庁・ゼネコン・金融と、様々です。

印象に残る仕事としては、7年前に、環境システムの事業の創設に係わったことです。今は、ひとつの事業本部になっています。』

—それでは、一般論として、タイムリーな話題になっていることをお聞きしたいのですが、マスコミでも論議を呼んでいます「中高年の雇用調整について」「環境問題について」、なにかご意見がございましたら。

『雇用調整についてですが、やはり、変わってくると思います。今は、世の中のサイクルが早くて、終身雇用は維持されないでしょうが、完全な欧米型にはならないと思います。年功序列も変わっていくでしょうが、中高年の処方箋としては、やはり自助努力しかないと思います。新しく



**EXEO**  
人と地球にやさしいテクノロジー  
株式会社 協和エクシオ

轉身できる技術、心構えを準備しておく必要があると思います。人生75年としても、60才定年で、残りの15年を、どう生きるか真剣に考えることが、有意義な人生を、楽しく生きることにも繋がってくると思います。自分から別の人生に飛び込むことも必要だと思います。

又、環境問題については、企業はもちろん、個々の人間が考え、実践していかなければならないと思っています。コストの点についても、基本的には発生者が負担すべきでしょうが、消費者も、それによって生活を向上させてきているわけですので、全員で、充分の負担が必要だと思います。環境税なども、場合に因っては必要かも知れません。ちなみに、当社でも先程でましたように、環境問題には力を入れています。具体的には、水処理や、雨水、バイオ等で浄化システムを作っています。』

—ご家族のこと、趣味等をお聞かせいただけますか。

『家族は、妻、長女(22才)、長男(19才)の4人家族です。趣味は、ゴルフですか。社内ハンデは20です。ほかに庭いじりで花壇を作ったりしています。盆栽は、続かなくてやめました。』

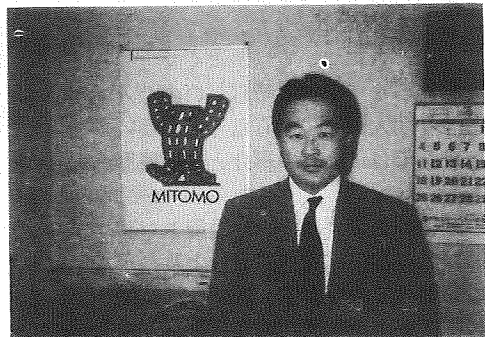
—最後になりましたが、社会や会社の若い人に対して、なにか助言のようなものがありましたら。『今の若い人は、ちゃんと自分の考え方を持っています。ただ、若年寄のようになって、スケールが小さくなっている気がします。偏差値教育の弊害だと思いますが、データを基準にして、人生を見ているようです。先が見えないと、追っかけていけないというのは、よく言えば合理的、効率的かもしれませんが、馬力がありません。情報が多すぎて、先が見え過ぎ、締めがあるのかも知れませんが、大きな夢が育たない気がします。』

『この部会も、コミュニケーションの場として、助け合うような活用をしていければいいのではないかと考えています。事務局を応援しています。』

(記者：村上)

## 会 員 探 訪

ミトモ建設㈱ 代表取締役社長  
御 供 洋 介  
渋谷区恵比寿西1-17-1  
☎ 3463-5490



インタビューのアポイントをとらせていただくとき、2年程前の新年会でお目にかかって以来でしたので、専務から社長になられていて、電話でお手間をとらせてしまいまして失礼をしてしまいました。しかも、お伺いさせていただいた日が、ちょうど先代社長の一周忌ということで、重ねて失礼を致しました。

—社長を引き継がれて、ちょうど1年が経ったわけですが、いかがですか。

『やっと落ち着いてきました。先日一周忌が終わったところ。』

—一部会報のOBインタビューではお若い方ですが、卒年と学部、サークル活動を。確かラグビー部とお伺いしたと思いましたが。

『56年、法学部卒です。ずっとラグビーをやってまして、瀬下、砂村、橋爪らがいたところで、大学4年のうち、1年と3年のとき大学選手権で優勝しました。私のいた4年間は、早明戦で負け無しです。2年と4年のときは、決勝で破れました。4年のときの決勝の相手は平尾、大八木らを擁した同志社でした。私のポジションは2本目のフランカーでした。やはり、八幡山での合宿生活が思い出に残っています。』

今は、趣味と健康をかねて、ラグビーのレフリーをしています。試合もシーズンに入ると週一のペースでありますので、健康に気をつけるようになりました。スポーツクラブにも入り、週3

日はトレーニングにでかけています。気持ちの入れ替えにもなり、いいですね。』

ーそれでは、会社の紹介と、卒業からの経歴も教えてください。

『建築の請負が主な業務です。地元の恵比寿地域に根ざして営業してまして、もう120棟くらいお世話させていただいています。自社ビルも5棟あり、その賃貸運営も行ってます。社員は現在67名です。3年ほど前より、CIを実施致しまして、ビルを擬人化したイメージキャラクターを使って、現場の仮囲やシートに貼り、評判を呼んでいるようです。また、作業着を変えたりして、若い人達へもいい影響がでてきたようです。』

卒業してからの経歴は、1年ほど、千代田火災で損保の営業をやりました。先輩の紹介で、代理店を作ったりしていました。その後、この会社に戻り、3年ほど現場にいました。一応、2級建築士はもっています。』

ー建設不動産部会へ入られたきっかけと、活動状況につきまして、どうでしょうか。

『入るきっかけは、渋谷地区のビル経営者協会に所属しているのですが、そのメンバーの三信建物の長田さんの紹介です。そう言えば、2年ほど前の新年会に出席して以来、建設不動産部会には、出席しておりません。あのときは確か、馬琴さんの扇子を買いました。』

ーそれでは、タイムリーな話題になっていることをお聞きしたいのですが、「建設業界の政治献金について」「環境問題について」、なにかご意見がございましたら。

『大手のことなので、あまり影響はないのですが、建設業に対する不安は感じます。ただ、後ろ向きに考えてもしょうがないので、攻撃的に考えるようにしています。』

ーお住まい、ご家族、趣味等をお聞かせいただけますか。

『世田谷の代沢に住んでいます。家族は、妻、長男(5才)、長女(1才)の4人家族です。趣味は、ゴルフで、ハンデは14です。もちろん、ラグビーも後輩の面倒をみたり、レフリーをやったりして、楽しんでいます。』

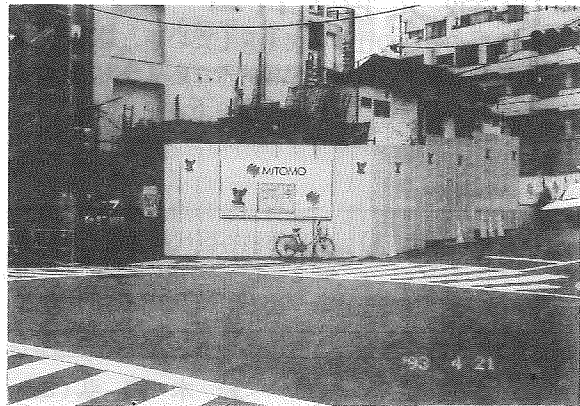
ー最後になりましたが、今の若い人に対して、なにかご意見がありましたら。

『ラグビーを通して、常に学生などと付き合っていますので、違和感はありません。入社してくる若い社員なんか、学生と比べるとちゃんとしていますよ。』



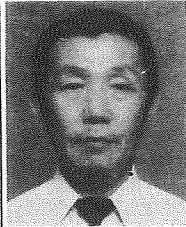
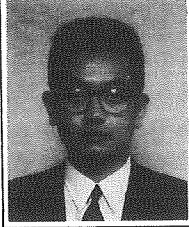
ーどうもお忙しいところありがとうございました。

以上

ーインタビューで、お聞きしようと思っていて聞き忘れてしまいましたが、御供(ミトモ)というお名前はめずらしいので、その由来など、また部会にご参加のおり、お聞かせいただければと思っております。(記者:村上)



## 新規会員紹介

 <p>井上 富康 (33・法) 大都建設株式会社 千葉支店・支店長代理 0471-66-7411 人と環境の調和を目指し、 社会に貢献します大都建設 ㈱です。どうぞよろしくお 願い申し上げます。</p>	 <p>縫部 隆彦 (40・商) ㈱エヌ・ティ・ティ・テレコム エンジニアリング関東 取締役企画事業部長 03-3626-6711 通信ネットワークの構築・ 保守で協力できる企業です。 よろしくお願いいたします。</p>
 <p>土金 雅晴 (41・商) 土金商事株式会社 代表取締役 03-3690-8784 社団法人全日本不動産協会 城東第一支部長として広いネ ットワークを有しているので売 買仲介に御用命いただきたい。</p>	 <p>谷口 龍春 (56・政) 株式会社 丹青社 横浜支店・営業課長 045-212-2213 刻一刻と魅力的な街に変化 する横浜で環境づくりを</p>

## ☆ 事務局便り ☆

### ◇ 新規会員を大募集!!

特に若い方大歓迎! 特に若い女性も歓迎! 会社、取引先先の明大OBに  
是非一声かけてお誘い下さい。

### ◇ 今後のスケジュール

- 納涼パーティー 7月29日(木) 「プラザ・オンゼ」  
ブラジル料理とサンバ
- 秋の見学会 11月13日(土) 午後3時  
「トステムショールーム」見学と  
フランス料理とワイン講座
- 新年会 平成6年1月21日(金) 午後7時  
「牡丹」

### ◇ 情報交換PRコーナーの設置!!

会員の皆様の仕事等でPRしたい事、是非こういう仕事でアクセス取りたい事等何  
でも募集します。皆様の積極的なご応募をお待ち致しております。  
是非事務局・秋元宛迄お送り下さい。

〔事務局〕 〒151 東京都渋谷区代々木2-10-10  
㈱ラッキーコーポレーション 事務局長 鈴木正彦(40・経営)・秋元  
☎ 03(3370)8458 FAX 03(3320)1653

編集 広報部 鈴木 康弘(39・商) 柳 沢 克 行(53・政経)  
村 上 仁 志(55・法) 内 海 佳 人(60・法)